

防災さんぽを実施しました

6月17日、わかば保育園にて、園自治連合会の協力の元、「防災さんぽ」を実施しました。

「防災さんぽ」とは、子どもたちに避難場所や避難経路、危険箇所を知ってもらうとともに、地域住民の顔を知ることによって地域の安心安全につなげようとする取り組みです。

さんぽをしながら、避難タワーや避難場所を示した表示板、地震で崩れそうなブロック塀、倒壊しそうな家屋など、避難する際に危険な場所を園児と一緒に確認しました。

子ども達は真剣な様子でうなずきながら職員の説明を聞き、また、普段通らない道では「この道、初めて通った」と防災のことをはじめ、地域のことなど多くのことを学べた様子でした。

また、園自治連合会からわかば保育園に、保育士が避難時に複数の子どもを抱えられることができる「抱っこひも」が贈呈されました。

みなさんも健康づくりを兼ねて、「防災さんぽ」をしてみてください。まちを歩くことで新たな発見もあり事前に危険な場所も確認することができます。

災害はいつ起こるかわかりません。さんぽを楽しみながら避難場所や避難経路、周辺の危険な場所を確認し、災害が発生した時に迅速に避難できるよう日頃から確認しておきましょう。

★地域や団体で、防災を学びながらまちを歩く「防災さんぽ」に興味のある方は、防災対策課までお問い合わせください。



～防災さんぽの様子～



～贈呈された抱っこひも～
(幼児3人を抱えている様子)

海水浴場での警報伝達方法が変わります

海水浴場や海岸付近で地震の揺れを感じたり津波警報等が発表されたら、ただちに高い場所に避難しましょう。

海水浴場においては、風や波の音で防災行政無線が聞こえにくい可能性があり、また、携帯電話を所持していないことなどが多いため緊急速報メールをすぐに確認できないことがあり、聴覚的な情報が入りにくい状況であります。そのため、今年から海水浴場にいる人に視覚的に避難を呼びかけるために、津波フラッグ（赤白格子模様の旗）を用いた津波警報等を伝達します。

監視員が津波フラッグを振っているのを見たら、急いで逃げましょう！



～赤白格子の旗を用いた津波警報等の伝達(イメージ)～
「日本ライフセービング協会ホームページより」